

磯城郡議員団だより

芝和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 8 6 2 - 7 0745-43-2415
吉田容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 1 1 3 - 5 090-5257-4446
森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 2 8 1 - 1 0744-33-8570
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 4 4 0 - 5 0745-43-2661

「骨太方針」社会保障を敵視

政府まとめ 多国籍企業は優遇

政府は13日、経済財政諮問会議を開き、「経済財政運営と改革の基本指針（骨太方針）」をまとめました。「骨太方針」は、社会保障を敵視する一方で、多国籍企業の活動を支援するものとなっています。

「骨太方針」は、財政再建について国と地方が政策に必要な費用を税金でまかなえているかの指標とされる「基礎的財政収支」の赤字を10年度比で半減させ、20年度に黒字化させるという目標を維持。具体的な道筋を示す中期財政計画を早期に策定するとしました。消費税率を14年4月に8%、15年10月に10%へ引き上げること、「着実に取り組む」と強調しました。社会保障は、「聖域とはせず」見なおすと明記。年金では給付額を抑制する「マクロ経済スライド」を早期実現するとしました。高齢者医療では70〜74歳の医療費の窓口負担を現行の1割から2割に拡大すること、生活保護では住宅費への補助の削減を含めて見直すことなどを検討する意向です。

多国籍企業を支援するため、「国際競争力を強化するインフラ（首都圏空港・国際コンテナ戦略港湾・三大都市圏環状道路等）」に集中投資するとしました。政府は14日に「成長戦略」とともに、閣議決定する予定です。

2013年6月14日(金)

政官業の癒着 アベノミクスで復活 麻生氏「やっぱりと与党 はええ宝の山だ」 国交族議員

安倍政権の最大の売り物である経済対策「アベノミクス」。その中でも機動的な財政政策の名の下に復活した大型公共事業のばらまきで政官業の癒着が復活しています。

無駄な大型公共事業 自公政権で ソロソロ

5月21日の夕方、国会近くのホテルに黒やグレーの高級車が次々に滑り込みました。ホテルでは日本道路建設業協会が定時総会を開催。終了後に行われた懇談パーティーには、鶴保庸介国土交通副大臣や公明党の山口那津男代表らが並びました。

三好武夫会長は冒頭のあいさつで頼を緩めました。「新政権の大規模な補正予算の成立により、道路建設業を取り巻く環境も改善の兆しが出てきている」

同協会は道路建設関係業者約160社を擁する団体。設立の目的は「道路整備の推進」などです。2012年度事業計画では「被災地の復旧・復興だけにとどまらず、全国的な防災の観点から強靱（きょうじん）な国土を構築するために必要な幹線道路網整備」を要請するとしていました。

会長がいう12年度補正予算は自公政権が復活して最初に行った大きな仕事のひとつ。アベノミクスの財政政策として総額13・1兆円の巨額の予算となりました。この中には、道路や橋などの維持・管理や改修といった不可欠な事業にまぎれて、沿線住民が反対している1メートル1億円の東京外郭環状道路などの大都市圏環状道路（高速道路）が盛り込まれました。無駄な大型公共事業もずらりと並び、協会の計画もかなえられた形となっています。

パーティーには、国交省の技官や局長も顔を見せ、道路建設業関係者とグラブを重ねました。政治家、官僚、業者が一堂に会し、政官業癒着の完全復活を印象付けました。

自民党は10年間で200兆円規模の公共事業をばらまく「国土強靱化」、公明党は防災・減災と称して10年間で100兆円の公共事業を掲げています。こんな場面も見られました。同日29日、衛藤晟一首相補佐官のパーティーが国会近くで開かれました。会場

選挙区は 候補者名で 比代表は 日本共産党 など政党名で

参院選 選挙区は候補者名で、比例代表は日本共産党など政党名で

の入り口には7、8人の国会議員が並び、来場者を迎えました。そこに近づいたスーツ姿の参加者の男性が声をかけました。「国土強靱化、すごいですね」。すると、固い握手を交わしながら国交族のベテラン議員はこう応じました。「宝の山ですよ」

5月20日に都内で開かれた自民党の石破茂幹事長の政治資金パーティーは多くの来場者が詰め掛けました。その席で麻生太郎副総理は実感を込めて語りました。「来て最初に思った感想。やっぱりと党はええなあ。野党のときのパーティーはこれの10分の1ぐらいだった気がする」

公共事業をばらまき、業界や企業、団体には政治資金パーティー券を購入してもらい、二人三脚で進む利益誘導型の政治。安倍自公政権は古い自民党政治を取り戻しています。

2013年6月11日(火)

シリア問題 国連総長 軍事援助に反対

【ワシントン＝山崎伸治】国連の潘基文（パン・ギムン）事務総長は14日、シリア問題について「軍事的解決はない」として、「軍事的道筋が向かうのはシリアの解体と地域の不安定化、宗教間・共同体間の緊張の増大だ」と強調し、シリア国内で争う政府・反体制両陣営に対する軍事援助に反対を表明しました。ニューヨークの国連本部で記者団に語りました。

潘氏は、シリア国内の「いずれの側に武器を提供することも現状に対処するものとはならない」と重ねて強調。「政治的解決だけがこの問題に持続的に対処するものだ」として、米ロが呼び掛けるシリア国際会議がすみやかに開催されるよう努力を続けると表明しました。

シリアのアサド政権が化学兵器を使用したとする米政府からの書簡を受け取ったと表明。加盟国からの情報提供には感謝するとした上で、そのような情報には「説得力のある明文化された証2013年2013」

拠なしには確認できない」として、独立機関による調査を継続する考えを示しました。2013年6月16日(日)

スイカの効能ご存知？

先日、「スイカで美肌」商品開発という記事で萩原農場が紹介されています。そこで、先月、元気な萩原農場さんで教えてもらったスイカの話をお知らせします。

スイカの果肉の約九五％は水分で、その内四六％が糖分です。水分にビタミンA、B1、B2、C、カルシウム、リン、鉄、カリウムなどのミネラル類、グルタミン酸、シトルリン、アルギニン、酸などを多く含んでいて、赤い果肉にはリコピンがトマトの1.5倍含まれているそうです。

リコピンの抗酸化力は、動脈硬化、肥満、血糖値

上昇、ガン、痴呆の予防や美肌に役立つそうです。シトルリンとカリウムは、体内の余分な尿と塩分を排泄す利尿作用があるそうです。

スイカの皮には、実に上に高い利尿作用があり、スイカの皮と豚肉の炒め物、スイカの皮のかき揚げ、スイカの皮を使った棒々鶏などの料理の普及にも取り組んでおられます。

スイカの効能に、「冷え性に効く」と書いてあります。冬なら良いのに・・・と思っていたら、冷房で冷える夏にも有効だそうです。夏ばて予防は毎日のスイカで！

田原本議会議員

吉田容工



消防、統合へ

十四日、六月議会が終りました。一番大きな動きとしましては、消防の奈良県一本化への参加が決まった事やと思います。

これまで、川西町は磯城郡と天理市、山添村から成る山辺広域行政事務組合を立ち上げて、消防行政を運営して来てたんですが、二〇一六年までに消防の無線設備をデジタル化せんなりません。して、これが、もう、十年も前から話は有るんですが、ここに来てても進んでません。で、県が音頭を執って奈良県一本の消防体制にして、無線の変更と合わせてしてしまおう、その方が経費が節減出来て合理的や。見たいな号令で合併有り機で事を進めてはります。

なくそうえん罪 救おつ無実の人々

冤罪で苦しんでいる人々を救援する関西市民集会在15日、大阪市内で開かれしました。

二部の「構成詩で綴る冤罪犠牲者の声」の中で、えん罪香芝強制わいせつ事件の被告のお母さんの訴えの要旨は次の通り、「まさか自分の息子が冤罪事件の被告になるとは思いませんでした。私が息子のために頑張ってきたのは、支えてくたさった皆さんとの出会いがあったからです。息子が自宅に戻り、生活を始めたころは、冤罪にあつたことばかりが先に立ち、再審のことしか考えられない毎日でした。しかし生活を始めると、厳しい現実が待っていました。

この香芝事件で冤罪に会い、頑張っていた親子がいたことを忘れないでいてほしいと思います。」

この香芝事件は再審の道を断念することを選択しました。決して後悔はしていません。厳しい現実と向かい合って生きていかなければなりません。どんな時も堂々と生きてまいります。この苦い経験をしたからこそ、皆さんの仲間として寄り添ってまいります。冤罪犠牲者にとつて、再審の道も、断念すること、とても勇気がいることです。自分たちの道を選んだ道に悔いはありません。

三宅町 池田年夫



安全の要望書 提出

去る十四日の午前中、地域の方々からの八項目の要望書を町長に提出し、役場の総務課と土木課の方々と話し合いの場を持ちました。

そこには鍵と小阪の自治会長さんと鍵の若いお母さん方三人も参加して下さり、現状と危険な所、困っている事など率直な意見が出され、各課からも丁寧な説明があり、私 が用意した写真と手書きの地図をもとに活発な話し合いが出来ました。具体的には、以前自転車ごと主婦が落ちたこと、もある北中の東側の道路と水路の間に、ガードパイプを設置する件や、T字路二カ所の「子ども飛

び出し危険」の看板設置の件は教育委員会や警察に連絡し、申請書を上げることに、また北中プール東側付近が夜は真っ暗なので、防犯灯を設置する事や、犬の糞禁止の看板に關しては自治会でつけるかどうか各自治会長さんが考えて下さっています。尚、水路への転落防止の柵は水利組合との協議が必要となります。

こうした住民の要望は予算のこと、優先順位からみもあり、すぐさま解決できるとは限りませんが事故や生命に關わる事でもあるので、一日も早く実現して欲しいものです。

田原本議会議員

森 良子

